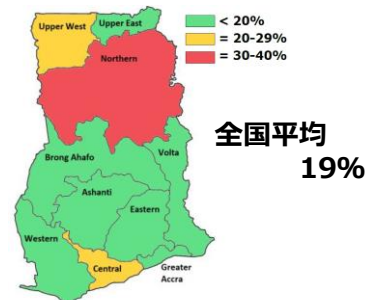


ガーナ栄養改善プロジェクト（GNIP）へのご支援のお願い

本プロジェクトは、ガーナの栄養不足に陥っている離乳児を1人でも多く支援することが目的です。現在、国内外の多様な組織の協力を得て、事業拡大を図っていますが、まだ目標の受益者数には及びません。更なる皆様からのご支援をお願いいたく、何卒どうぞよろしくお願いいたします。

1. プロジェクトの背景／ガーナにおける離乳児の栄養課題

- (1) 栄養不足による低身長率：約5人に1人（19%、約60万人）
5歳児以下の子どもの栄養不足等を起因とする低身長率は、全国平均で約19%。都市部（主に南部/人口多く密集）では「人数」が多く、農村部（主に北部/人口少なく広域に分散）では低身長「率」が高い（右図参照）
- (2) 生後1000日の栄養状況が一生を左右する
生後1000日までを“Windows of Opportunity”と呼ぶ。
この時期に栄養が低下すると脳機能や身体機能の成長阻害に繋がり、生涯の生産性低下や免疫力低下等の影響を招く。
よって離乳児の栄養改善の重要性は高い
(例：2～3歳児の低身長全国平均約3割)



▲“KOKO Plus” ▲食べ方（お粥に混ぜる）

2. プロジェクト概要

- (1) 正式名称：Ghana Nutrition Improvement Project (GNIP)
- (2) 目的：1) ガーナの離乳児の栄養不良による発育障害（低身長）の改善
2) 援助に頼らないビジネスモデルの確立
- (3) 特徴

1) 科学的知見に基づいた製品開発

- 離乳食の栄養不良を解決するソリューションとして、離乳食用サプリメント「KOKO Plus」（以下 KKP）を開発
KKPには、微量栄養素やタンパク質・必須アミノ酸を配合
- 随時得られた知見を、論文化して公開

2) 多様な連携

- ガーナ政府機関 Ghana Health Service (GHS)
⇒ 看護師による母親への栄養教育とKKPの紹介
- 国連 World Food Programme ⇒ フードバスケット認証取得
- 国際協力 NGO CARE ⇒ 女性就業支援と協働 等

3) ガーナでの自立・自走化

- ガーナの伝統的離乳食 KOKO をベースに製品開発から生産、普及活動に至るまでの全ての過程を、ガーナ人主体で実施。いずれガーナの自立を目指す
- 当財団（2017年4月、味の素(株)から本事業を承継）は支援を実施

4) 母親に確実に届け、確実に使い続けてもらう

- 購買者（母親）の状況、及び市場状況に合わせた都市部・農村部それぞれのバリューチェーン構築と価格設定
- 外務省支援下での最貧民層支給プログラムの開始
- 母親へ栄養啓発実施、KKPの使用継続価値の本質的理解に繋げる

3. 今後の展開と課題

- (1) 今後の展開 = 受益者数を拡大
2009年スタート以来、受益者は1.5万人と小規模。ガーナ国内約60万人の離乳児が栄養不足の中、今までは普及スピードが遅かった。今後は、本格的に事業化し、5年後の2023年度には20万人に拡大予定
- (2) 現在の課題
農村部：人口密度が低いため、訪問販売のみに普及が限られる。この手法は、KKPの継続利用率が高い有効な施策であるが、体制構築に時間を要することが課題。**新たなドナー・連携先のご支援が必要**
都市部：GHSとの協働覚書締結により、全国の保健所においてKOKO Plusの紹介が可能な体制となったが、開始手続きに時間を要することが課題（現状3か月/1地区）。**加速化する施策が必要**



▲女性起業家による訪問販売



▲看護師による母親向け KKP 説明

4. 問い合わせ先

担当： taf_information@ajinomoto.com

GNIP ウェブサイト→

